



特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

第 16 回 通常総会

日 時： 平成 28 年 6 月 18 日（土） 13：30～15：30

場 所： 佼成図書館視聴覚室
（東京都杉並区和田 1-2-1）

通 常 総 会 次 第

1. 議長・副議長選任の件（含：定足数確認）
2. 議事録署名人選任の件
3. 審議事項
 - (1) 平成 27 年度事業報告書（案）の件 1
 （「参考：平成 27 年度事業の報告」）
 - (2) 平成 27 年度収支報告書（案）の件 25
 （事業並びに収支および個人情報保護についての監査報告）
 - (3) 監事選任の件
 - (4) 東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件
4. 報告事項
 - (1) 平成 28 年度事業計画書の件 37
 - (2) 平成 28 年度収支予算書の件 42
 - (3) その他

以 上

平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1 事業の成果

今年度、初めて実施した全国清掃キャンペーン『明社人 みんなでゴミ拾い 2015』には、前期に21都道府県38団体（総勢2,961人）、後期に22都道府県34団体（総勢2,245人）が参加。すべての活動報告を広報誌『はーとふる』に掲載し、明るい社会づくり運動全体の連帯の一助を担った。

日本国際ボランティアセンター（JVC）からの協力要請を受け、未使用ハガキによる『ラオスに井戸を贈る運動』に着手。広報誌、ホームページ、Facebook等を通じ、市民と会員に呼びかけた結果、20,567枚のハガキを収集し、JVCに送り届けた。

本年度で3回目の開催となった『全国都道府県会議』には33都道府県から59人が参加。東京ボランティア市民活動センターから講師を招き、「福祉とボランティアの現状・協働について」学び合った。

時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、本運動の推進を図ることを目的とした『明社ミーティング』は好評で、当初計画の3会場が4会場（北陸、北海道、千葉、北東北）となり、総勢198人が参加した。

東日本大震災被災者支援活動は、現地から協力要請のあった仮設住宅・復興住宅のコミュニティーづくり等の事業に協働。11会場に集った1,388人の復興支援に努めた。

社会貢献活動を志す人材育成を目的とした『明社志民カレッジ』は3会場で実施し、総勢21人が参加した。今年度は持続可能なエネルギーづくりを学んだほか、全国社会福祉協議会が福島県郡山市で開催した『全国ボランティアフェスティバル』にも参加し、多くの団体の活動を学習した。

このほか、要請のあった都道府県・地区明社の38か所に講師を派遣し、各種相談や研修を務めた。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び数	事業費の金額 (千円)
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するための情報の収集と提供	ネットワーク推進事業1 「全国都道府県会議」 本運動の方向性や事業のあり方を共有し、より一層の繋がりを図るために、全国各地で活動する方々と意見・情報の交換を行った。	平成27年10月31日～11月1日	東京都千代田区 全国町村会館	23人	会員 59人	3,264
	ネットワーク推進事業2 「明社ミーティング」 時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報・意見交換を通して運動の推進を図る事を目的に行った。	平成27年5月23日～24日 平成27年9月5日～6日 平成27年9月27日～28日 平成27年10月24日～25日	石川県千丈温泉 おたる自然の村 サンライズ九十九里 国立岩手青少年交流の家	6人	会員 198人	1,049

明るい社会づくりの精神を啓発・普及するための情報の収集と提供	ネットワーク推進事業3 「講師派遣と相談サービス」 各都道府県および各地区明社からの要請を受け、総会や研修会等に役員を講師として派遣した。また、運営や活動等の相談にも応じた。	平成26年4月11日～28年3月27日	岡山県倉敷市 他37か所	38人	会員 一般市民 1,620人	1,432
	ネットワーク推進事業4 「諸団体との連携」 ①全国清掃キャンペーン 都道府県・地区明社が実施する清掃活動を、「全国清掃キャンペーン」として呼びかけ、参加人数を機関誌に掲載、明社運動全体の連帯を深めた。 ②日本国際ボランティアセンターからの要請で、未使用ハガキ回収による「ラオスに井戸を贈る運動」に着手、20,567枚が集まった。	随 時	各都道府県	5,206人	会員 一般市民 不特定多数	0
		平成26年7月1日～平成28年3月31日	法人事務所	74人		71
	広報事業1「機関誌」 機関誌『はーとふる』を発行し、全国各地で展開される本運動の広報に努めた。	年4回 4月・7月 10月・1月	法人事務所	4人	会員 寄付者 一般市民 36,000人	3,682
	広報事業2「WEB」 事業報告や事業予告記事をホームページに掲載、同時にメールマガジンを発行して告知を行った。また、Facebook ページを活用して記事掲載を告知することで、新たな読者層の開拓に努めた。	随 時	法人事務所	4人	会員 一般市民 不特定多数	1,124
	広報事業3「広報ツール」 提唱50周年にむけての映像取材と、「明社パンフレット」およびロゴマークのピンバッジの頒布を行った。	随 時	法人事務所	4人	会員 一般市民 226人	162
	調査・研究事業 ①明社志民カレッジ 明社理念に賛同し社会貢献を志す人を対象に、市民活動の手法を学ぶフィールドワークを行った。	平成27年6月28日 平成27年9月19日～21日 平成27年11月21日～22日	法人事務所 長野県飯田市 福島県郡山市	9人	会員 23人	1,184

明るい社会づくり運動に関する調査・研究の推進	②セミナー等への参加 他団体主催のセミナー事業等に参加し、他団体との協働のあり方などを学んだ。	平成27年5月28日～10月2日	日本NPOセンター他2か所	7人	会員 一般市民 不特定多数	226
	③地区明社の情報収集 事務所内の情報コーナーで、収集した広報誌・記念誌等の発行物を閲覧できるようにした。	随 時	法人事務所	4人	会員 一般市民 不特定多数	0
	④書籍の購入 情報収集のため書籍を購入した他、刊行物の定期購読を行った。	3回	法人事務所	4人	事務局 役員等	6
明るい社会をつくるために活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	地域協働事業 ①歳末助け合い募金 大阪府地区明社連絡会傘下の25地区と協働して、歳末助け合い募金を行った。	平成27年12月5日～27日	大阪府内主要駅前等68か所	1,284人	一般市民 不特定多数	47
	②宇和島キッズ明社 毎年宇和島明社が実施している“うわじま牛鬼まつり・ゴミバスターズ”に「宇和島キッズ明社」立ち上げの準備として、小学生20人が参加した。	平成27年7月24日	愛媛県宇和島市	5人	小学生 20人	59
	明社レンジャー事業 地区明社や協力団体からの要請を受け、「耀！連隊明社レンジャー」を出動させ、市民との交流活動を行い、本運動のPRを行った。	平成27年10月18日～平成28年3月12日	東京都杉並区 他4か所	3人	会員 一般市民 不特定多数	285
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するためのセミナー・シンポジウム・講演会・大会の開催	集会事業1「全国集会」 来年度開催される「全国集会in沖縄」の企画検討委員会を実施した。	平成27年5月20日～平成28年3月16日	沖縄県那覇市	11人	会員 一般市民 200人	584
明るい社会をつくるために活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	災害支援事業1 「ボランティア活動」 仮設住宅ならびに復興住宅でのコミュニティづくりの支援を中心に、仮設住宅の子どもたちへの支援などを行った。 また、燈籠流しの支援を行った。	平成27年6月7日～平成28年1月17日	石巻市女川町 バイパス用地仮設住宅東集会所 他10か所	157人	一般市民 1,388人 一般市民 不特定多数	1,009

災害支援事業2 「植樹活動」 全国から寄せられた寄付金 で、支援要請のあった被災 地での花植えと“めいしゃ のもり”の整備を行った	平成27年4月 18日～19日	石巻市河南イン ターチェンジ付 近側道	24人	一般市民 不特定多数	2,861
	平成27年10月 17日～18日	石巻市八幡町	14人		
	平成27年11月 1日～平成28 年3月20日	石巻市上釜ふれ あい広場	16人		

平成 27 年度の事業報告（参考 - 詳細報告）

事業の実施に関する事項

1. ネットワーク推進事業

(1) 全国都道府県会議

明社運動の方向性や事業のあり方を共有し、全国都道府県の方々と意見・情報交換を行い、より一層の繋がりを図ることを目的に開催した。

日 時：平成 27 年 10 月 31 日(土)～11 月 1 日(日)

会 場：全国町村会館(東京都千代田区永田町 1-11-35)

内 容：全国都道府県会議の意義と目的が砂川理事長より説明され、第 2 回全国都道府県会議で発表された「これからの明るい社会づくり運動・3 つの方針」について原事務局長より説明がなされ、各グループ毎に確認を行なった。

翌日は、「3 つの方針」に沿った情報として、東京ボランティア市民活動センター・アドバイザーの安藤雄太氏より「福祉、ボランティアの現状と協働について」と題して講演が行われた。



参加数：1 都 1 道 2 府 29 県 59 人 総参加数 82 人

〔参加者の感想〕

- ・明社活動の姿勢を方向転換させる時期が来た。
- ・明社活動は変わると実感した。
- ・まだまだ自己完結型の明社が多い。これは役員の考え方がそのようなので、他の団体に善意の場を提供していくという考え方がまずないのが現状。今後、私たちが変わって仲間と話をしていかなないと始まらないと思う。

(2) 明社ミーティング

時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報交換並びに意見交換を通して、運動の推進を図ることを目的に、4会場で実施された。

□北陸3県地区明社ミーティング

日 時：平成27年5月23日(土)～24日(日)

会 場：石川県千丈温泉「清流」

参加数：57人（福井20人・石川30人・富山7人）



内 容：1日目

①基調講演「笑って迎える明るく幸せな老い支度」

…稲手信次氏（社会福祉法人共友会）

②各県活動報告 ③グループ討議

2日目

①講演「これからの明るい社会づくり運動」…砂川敏文（全国明社理事長）

②グループ発表「明社運動のこれからの取り組み」



全国明社と明社北陸ブロック共催での明社ミーティングが、新緑の眩しい白山市河内町の千丈温泉「清流」の施設を貸し切って行われた。今年のテーマは、「笑って迎える明るく幸せな老い支度」～超高齢社会に立ち向かうコツ～で、基調講演では社会福祉法人「共友会」総合施設長 稲手信次氏が、幸齢者（幸せな高齢者）になるためのコツとして、実際の介護体験の中で学び感じたことなどを、ユーモアを交えながら具体的に講演。これからの超高齢社会に向けての示唆に富んだ内容は、非常に好評を得た。その後、各県から特徴ある事例報告がなされたあと、グループディスカッションが活発に行われ1日目を終了した。

2日目は、砂川理事長が「これからの明るい社会づくり運動」と題して講演を行い、4年後の『明るい社会づくり運動提唱50周年』に向けて、明るい社会づくり運動のあるべき姿を講演。その後、全体会に移り各グループで、明るい社会づくり運動にどのように取り組んでいくかを発表し閉会した。

□北海道ミーティング

日 時：平成 27 年 9 月 5 日(土)～6 日(日)

会 場：おたる自然の村

参加数：68 人

内 容：1 日目 ①出会いの集い

②講話「笑顔のあふれるまちづくり」…砂川理事長

③活動報告（道内 8 地区）

2 日目 ①研修「明社運動の方向性」…原事務局長

②グループ討議・発表

1 日目は、今回のテーマである「笑顔のあふれるまちづくり」を題材に、砂川理事長から小樽の歴史をはじめ、笑顔のメカニズムから笑顔がもたらす明るいまちづくり、社会変革を踏まえたこれからの明社運動など、幅広い視点で講話。その後、参加の各地区明社から活動報告がなされ、取り組みの共有化を図った。



2 日目は、原事務局長から、これからの明るい社会づくり運動について、①運動の経過②提唱者の願い③3つの方針④運動のあり方などが確認された。その後のグループ討議・発表においても、自己完結型の活動であったことの振り返りと、今後は諸団体と連携して情報を発信していくことの必要性が発表された。



□千葉県ミーティング

日 時：平成 27 年 9 月 27 日(日)～28 日(月)

会 場：サンライズ九十九里浜（国民宿舎）

参加数：17 人

内 容：1 日目 ①基調講演「明社運動と人づくり」…原事務局長

②グループ討議 a. 提唱者の理念と精神

b. 地区活動の活性化と県明社のあり方

c. 人材養成

d. 他地区・団体との交流

2 日目 ①グループ討議「今後の明社運動について」・発表

②質疑応答と発表コメント

1 日目、阿部代表の挨拶と開催地区の東総明社篠田会長の挨拶に続いて、全国明社・原事務局長の基調講演が行なわれた。明社運動の提唱された時代的背景と提唱者の願いなど、運動の根幹に触れた。



2 日目のテーマは『今後の明社運動』『明社ミーティングに参加しての感想』について、グループ討議を行い、「信頼と思いやりで結ばれることを目標にした 3 つの方針も、よく理解でき、今後につなげて進めたい」「地区を回る形で、今後も明社ミーティングをやってもらえないか」などの 発表があり、明社運動の更なる推進と活力ある地区活動を目ざすよい機縁となった。

□北東北ミーティング

日 時：平成 27 年 10 月 24 日(土)～25 日(日)

会 場：国立岩手青少年交流の家

参加数：56 人（青森・秋田・岩手）

内 容：1 日目

- ①東日本大震災 4 年目の状況について…釜石明社
- ②活動事例発表 I …みなみ岩手明社
- ③講義 I 「これからの明るい社会づくり運動 3 つの方針」…原事務局長
- ④講義 II 「児童養護施設から見た子供たち」
…社会福祉法人小原慶福会児童養護施設院長 佐藤 孝氏
- ⑤活動事例発表 II 「いのちを支える活動」…みなみ岩手明社

2 日目 ①講義Ⅲ「青少年健全育成と四節主義を見守る」…北東北明社会長 藤川智美

②講義Ⅳ「少子高齢化時代の地域を見守る」…秋田県明社会長 虻川久崇

③グループ討議と発表

④まとめ

…青森県明社会長
村田志朗



(3) 講師派遣と相談サービス

総会での講演や研修会講師および相談等、要請のあった県明社・地区明社 38 か所に対し、全国明社役員・事務局員等、延べ 38 人を講師・アドバイザーとして派遣した。
場所・内容は以下のとおり。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学習会講師	倉敷	京都 宇和島	宇和島 旭川	水戸 新ぼくそう	秋田 京都	倉敷	鹿島	京都 山形 松山	新宿 兵庫 岡山 美作		萩 新宿 美作 長野	広島 水戸 帯広 兵庫
総会講演	四街道	大阪府 越谷										
相談				石巻	石巻				千葉県		岡山	
講演会講師			氷見					青森県 東京区部				青森
集い										練馬		

(4) 諸団体との連携

①全国清掃キャンペーン『明社人 みんなでゴミ拾い2015』

『は一とふる』2015年春号の誌面に案内記事を掲載し、報告書提出の案内チラシを同封した。
前期＝平成27年1月1日～6月30日の実施報告は、21都道府県38団体で2,961人が参加、
詳細は『は一とふる』2015年秋号に掲載した。

後期分（平成27年7月1日～12月31日）は、『は一とふる』2015年秋号の発送時に報告書提出の案内のチラシを同封。22都道府県34団体で2,245人が参加した。

②ラオスに井戸を贈る運動

JVC（日本国際ボランティアセンター）からの協力要請を受け、未使用ハガキによる『ラオスに井戸を贈る運動』に着手、機関誌・ホームページ・Facebook等を通じて会員に呼びかけた。3月末日現在20,567枚のハガキが集まり、JVCに送った。

特定非営利活動法人
明るい社会づくり運動 ●HOME ●全国明社情報 ●都道府県・地区明社活動紹介 ●他団体活動紹介

明るい社会づくり運動とは 都道府県・地区明社 参加方法 機関誌・メールマガジン リンク

国際協力活動 — 世界はひとつ、応援します

全国明社は東日本大震災以来、全国の地区明社のご協力のもと災害復興支援を続けてきましたが、国内の支援のみならず、国際的な視野に立って国際協力への意義を持つ必要性を感じ、国際協力の現場で活躍しているNPOを国内から応援する形で、国際協力に貢献しようと思っています。

ラオスに井戸を贈る運動



その第1弾として、今年度より日本国際ボランティアセンター(JVC)と協働して、未使用ハガキによる『ラオスに井戸を贈る運動』に取り組みます。

ラオスでは乾季になると水不足となり、農業だけでなく生活にも影響が出てきます。JVCでは、清潔な水へのアクセスは全ての人が実現すべき権利と考え、浅井戸や深井戸の掘削を実施しており、未使用ハガキ約800枚で、15家族が使用可能な小型の深井戸1基となります。詳細は、[こちらをご覧ください](#)。

※全国明社にお送りいただいた使用済みはがきは約12,000枚(19分)を、1月18日にJVCにお届けしました。引き続きのご協力、よろしくお願い致します。

※井戸の設置が決まりました！！
詳細は、[こちらをご覧ください](#)。

2. 広報事業

(1) 機関誌『はーとふる』の発行

機関誌『はーとふる』を発行し、全国各地で展開される本運動の広報に努めた。昨年度開催した『全国都道府県会議』で発表した「これからの明るい社会づくり運動・3つの方針」の活動紹介を新連載。具体的な事例を紹介することで、多くの地区明社から好評を得た。

また、編集委員会が企画した「未来を創造する子どもたち」では子どもを支援する市民団体を紹介。情報を得た地区明社が各団体に助成金を送ったり、講師要請を行ったことで、双方に大変喜ばれた。



各号の配布内容は以下のとおり。

- ・2015年春号（平成27年4月1日発行、フルカラー20頁、9,000部印刷）
配布内訳 会員1,041、贈呈79、寄稿者・取材団体贈呈900、各地ボランティアセンター・NPOセンター115、都道府県明社・地区明社配付5,665、購読18団体730
- ・2015年夏号（平成27年7月1日、フルカラー20頁、9,000部印刷）
配付内訳 会員1,055、贈呈79、寄稿者・取材団体贈呈900、各地ボランティアセンター・NPOセンター115、都道府県・地区明社配付5,701、購読19団体1,130
- ・2015年秋号（平成27年10月1日、フルカラー20頁、8,500部印刷）
配付内訳 会員1,058、贈呈79、寄稿者・取材団体贈呈700、各地ボランティアセンター・NPOセンター115、都道府県・地区明社5,701、購読20団体750
- ・2016年冬号（平成28年1月1日発行、フルカラー20頁、発行部数9,500部）
配布内訳 会員1,066部、贈呈80、寄稿者・取材団体贈呈900、各地ボランティアセンター・NPOセンター115、都道府県明社・地区明社5,701、購読22団体1,260

(2) WEB 等の IT 活用

各地区明社実施の事業報告並びに全国明社実施の事業報告に関し、ホームページに記事を掲載すると同時にメールマガジンを発行して掲載の告知を行った。また Facebook ページにおいても記事を紹介、一記事平均 150 人の訪問者があった。

メールマガジン発行部数 121 部、Facebook ページへ“いいね”をした人の数は 187 人。



掲載記事とメールマガジン発行回数は以下の通り。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全国明社情報	1	0	1	1	1	5	4	1	0	2	0	0	16
他団体情報	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
地区明社情報	1	6	4	6	7	4	3	8	4	3	3	3	52
メールマガジン	1	1	3	2	3	4	3	2	3	4	2	3	31
Facebook	3	8	5	7	8	10	7	14	7	7	6	5	87
(訪問者数)	497	1,353	631	1,396	1,355	1,184	588	1,965	903	925	1,109	1,103	13,009

(3) 広報ツールの開発

①提唱 50 周年にむけての活動映像収集のために、以下の取材を行った。

4 月 19 日 (日) 帯広動物園清掃 帯広明社

5 月 3 日 (日) ～5 日 (火)

広島フラワーフェスティバル・ゴミ分別指導 広島地域連絡協議会

上記以外にも、別事業で訪問の際には並行して映像用の取材を行った。

②「明社バッジ」および「明社パンフレット」の注文を受け、適宜発送した。

3. 調査・研究事業

(1) 明社志民カレッジ

明社運動の理念に賛同し、社会貢献を志す方を対象に、各地の先見的な活動を訪ね 実践している方たちの熱い思いにふれるフィールドワークを行い、時代から求められる新しい地域づくり・市民活動の担い手としての次代リーダーを育成することを目的に実施した。

参加に当たって、全回数参加を基本としたが、受講生のニーズに応え、各回の選択参加も可とした。

第1回

日 時：平成 27 年 6 月 28 日(日)

会 場：法人明社事務所

参加者：受講生 5 人、事務局 3 人、 計 8 人

内 容：「明社運動の理念と実践」

—これからの明るい社会づくり運動・3つの方針—



提唱から現在に至るまでの組織の変遷と、それぞれの時代における運動の展開を学び、基底たる提唱の理念・提唱者の思いは変わらないことを確認した。また、「全国都道府県会議」で発表された「これからの明るい社会づくり運動・3つの方針」について学び、これからの明社運動のあり方を確認した。

第2回

日 時：平成 27 年 9 月 19 日(土)～21 日(月)

会 場：長野県飯田市

参加者：受講生 6 人、理事・監事 2 人、事務局 3 人 計 11 人

内 容：「エネルギー自立型社会を築く」

—エネルギーの現状を学び、持続可能な社会づくりを考える—

- 「自然エネルギーとまちづくり」…おひさま進歩（太陽光発電見学）
- 南信州レジ袋削減推進協議会の実践と課題
- 生活ゴミリサイクル施設見学



地元の“NPO 法人いいだ自然エネルギーネット山法師”事務局長・平沢さんの案内で、メガソーラいいだ”を見学。ここは、中部電力が飯田市の地面を買って作った太陽光発電所で、1000kW の発電量があり 300 世帯の電力を発電している。飯田市の日射量は全国でも有数で、太陽光発電や太陽熱を利用している家庭がとて多いそう。続いて、“ほっ湯(と)アップル”という市営の温浴施設で入浴。ここは、地元の木材でつくったペレットをボイラーの燃料にしてお湯を沸かしているとのことで、飯田市の環境に対する熱意が感じられた。

おひさま進歩エネルギー(株)原社長より、「自然エネルギーとまちづくり」というテーマで講演。2004 年に環境文化都市を目指す飯田市や南信州で、環境型社会構築のために『市民ができること、市民でないとできないことがあるはず』という思いからNPOを立ち上げた経緯を説明。それを実現するためエネルギーに注目して、市民がお金を出してつくった発電所(市民発電所)に取り組んできたことを説明。その他、南信州における「レジ袋無料配布中止」の取り組みについて、南信州レジ袋削減推進協議会、今村良子会長からの話など…



最後に全員で今回のカレッジの振り返り、シェアリングを行った。参加者が一番感じたことは、やはり人材の大切さであった。一人ひとりが意識をもって、人・地域・環境に対する優しさ、思いやりを持つこと、そして自分の身近なところから実践し伝えていくことが大事ではないかということを話し合い、プログラムを終えた。(参加者レポートより)

第3回

日 時：平成 27 年 11 月 21 日(土)～22 日(日)

会 場：福島県郡山市「ビックパレットふくしま」

参加者：受講生 10 人、理事 1 人、事務局 3 人 計 14 人

内 容：全国社会福祉協議会主催「全国ボランティアフェスティバル」参加

テーマ — “ありがとう” 未来につなごう ふくしまから—

●基調講演「おカネの世界」から「いのちの世界」「成長社会」から「熟成の社会」

- シンポジウム「未来につなぐ日ごろのつながり・支え合い」
（石巻社協復興支援課・認定NPO 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク・
福島大学未来支援センター・認定NPO 日本ボランティアコーディネーター協会）
- 分科会（22 分科会から受講生が選んだ分科会）
「働きながら取り組むボランティア活動」3人、「協働のいろはを学ぶ」3人
「次代を担う若者のチカラを未来へ」2人
「脱！ 貧困～学習支援という一つの方法」1人
- フィールドワーク「過疎と少子高齢化に悩む集落、その暮らし方」1人
「会津若松市内の歴史と伝統」3人



原発事故により全村避難を強いられた飯舘村・菅野典雄村長の基調講演は、まさに明社運動の基本精神そのもの。飄々とした語り口の「人生少しアクセル 緩めましょうや」が、心に残った。

2日間を通して感じたことは、巨大地震、津波、原発事故と言う人類史上初の複合災害に直面した福島の「いま」をしっかりと見つめ、未来にむけて歩みを進めたいと言う願いの込められたものだったように思う。（参加者レポートより）

（2）地区明社の情報収集

地区発行の広報誌・記念誌等の発行物を保管し、いつでも閲覧できるようにした。

（3）諸団体の事業等への参加

- ①日本NPOセンター勉強会 2人 ②南信州フォーラム参加 1人
- ③庭野平和財団GNH学習・新潟県山古志村フィールドツアー参加 4人

（4）書籍等による情報収集

- 書籍の購入 3件

4. 地域協働事業

(1) 明るい社会づくり運動大阪府地区明社連絡会『歳末助け合い募金』

実施日：平成 27 年 12 月 5 日(土)～27 日(日)

会 場：大阪府内 68 か所

参加数：大阪府地区明社連絡会所属 25 地区 1,284 人



この募金活動は大阪府地区明社連絡会の前身団体の頃から 40 年近く続いている活動で、大阪府下 25 の地区明社により、毎年 12 月中の土・日・祭日を中心に、各地区内の主要駅前やスーパー等 68 か所で行われ、約 1300 人が参加している。募金の際には、各地区とも目的・趣旨そして寄託先をボードに貼ったり、寄託先である地区の社会福祉協議会や社会福祉法人などからの昨年度のお礼状をコピーしたものを掲示しており、ボードを見て質問される方には丁寧にお答えして、募金への理解と協力をお願いしている。また募金をしてくださった方には、お礼の折り紙やシールを渡すなど、それぞれに工夫をこらした活動を行なっている。

集まった募金は各地区ごとに社会福祉協議会を始め、福祉施設などの地区内の団体へ寄託するほか、一部は大阪府地区明社連絡会として“東日本大震災みやぎ子ども育英基金”に贈られた。

(2) 青少年育成活動（キッズ明社）

実施日：平成 27 年 7 月 24 日(金)

内 容：毎年、宇和島明社が実施している“うわじま牛鬼まつり・ゴミバスターズ”に「宇和島キッズ明社」立ち上げの準備として、小学生 20 人がゴミバスターズに参加した。



5. 明社レンジャー事業

地区明社や協力団体からの要請を受け、「耀！連隊 明社レンジャー」を出動させ、市民との交流活動を行い、本運動のPRを行った。出動状況は以下のとおり。

- ・10月18日(日) 東京都杉並区で立正佼成会主催「お会式一乗まつり」で広報・交流活動
- ・11月7日(土) 佐賀県佐賀市で佐賀明社主催「第4回佐賀いのちの日フェスティバル」でヒーローショー
- ・1月20日(水) 宮城県南三陸町で保育所の園児たちと交流活動
- ・3月12日(土) 愛媛県新居浜市で高校生ボランティアサークルMay主催「第1回新居浜市高校生フェスティバル」で広報・交流活動



また、以下のとおり衣装を貸出し、地区明社の協働事業を支援した。

- ・12月12日(土) 明るい社会づくり西尾「やさしさふれあいクリスマスコンサート」

6. 集会事業

平成28年度開催の「全国集会 in 沖縄」企画検討会の実施

- (1) NPO 法人明社沖縄地区協議会と企画委員会を設置
- (2) 企画員会4回開催…実行委員会の設置を決定
- (3) 全国集会実行委員会を3回開催
- (4) 企画委員会及び実行委員会の決定事項

①日程：平成28年7月2日(土)～3日(日)

②会場：パシフィックホテル沖縄

③内容：全国集会は1日とし、2日目は自由とする。

●2日目は、オプションコース(観光)を設ける。

●宿泊・交通については、参加者が直接旅行社に予約する。

④応募：平成27年10月に第1次募集をし、平成28年4月に再度募集する。

⑤実行委員会組織は、3部門(総務・進行・会場)とし各部門長を置く。

7. 災害支援事業

(1) 東日本大震災被災者支援ボランティア活動

① 「仮設住宅独居高齢者安否確認とコミュニティづくり」

実施日：平成 27 年 6 月 7 日(日)

会 場：石巻市女川町バイパス用地仮設住宅東集会場

スタッフ：仮設役員 11 人、石巻明社 5 人、全国明社 2 人

対象者：仮設住民 300 人



内 容：集会場で仮設の婦人が中心となり、牛丼・豚丼・サラダ・味噌汁を 200 人分調理し集まった復興者と昼食をとりながら楽しい一時を過ごした。また、集会場に来られなかった高齢者宅には、安否確認を兼ねて食事をお届けし、健康・生活状況などを確認した。

② 「1 万基燈籠流し」

実施日：平成 27 年 7 月 31 日(金)

会 場：石巻市旧北上川

スタッフ：埼玉加須 19 人 石巻明社 5 人
京都明社 2 人 全国明社 3 人



内 容：昨年同様に石巻清掃組合駐車場を借り、100 個の大燈籠の組み立てを行った。地元漁業組合の協力のもと、100 基の大燈籠を 50 基ずつ旧北上川兩岸に固定し、その間を、石巻商工会議所が各団体と共に用意した灯ろうを流した。

③「子ども支援夏祭り」

実施日：平成 27 年 8 月 9 日(日)

会 場：南三陸町旭ヶ丘団地

スタッフ：地域支援ネット架け橋 8 人 石巻明社 1 人 全国明社 2 人

対 象：団地住人 60 人 子供 28 人



内 容：集会場にて子供たちとゲーム、踊りなどを楽しみ、夕食に焼きそばを提供した。

夜からは、団地の公園内で親子で花火をし、夏の夜を楽しんだ。

④「子ども支援夏祭り」

実施日：平成 27 年 8 月 15 日(土)

会 場：南三陸町戸倉中学校グランド仮設住宅

スタッフ：地域支援ネット架け橋・慶応大学生 12 人

対 象：仮設住宅子供 31 人

内 容：夏祭りの花火大会に花火を提供した。



⑤「仮設盆踊り大会」

実施日：平成 27 年 8 月 16 日(日)

会 場：仙台市美田園第一応急仮設住宅

スタッフ：仙台明社 8 人

対 象：200 人

内 容：盆踊りおよびイベントの食材を提供した。



⑥「復興住宅納涼祭」

実施日：平成 27 年 8 月 22 日(土)～23 日(日)

会 場：仙台市田子西復興公営住宅

スタッフ：仙台明社 20 人 全国明社 1 人

対 象：400 人



内 容：復興住宅でのコミュニティーづくりの一環として、初の納涼祭を実施した。

- 落語、舞踊、マジック、スイカ割り、歌謡など 2 日間にわたって行われた。
- 家族写真コーナーでは、流された思い出(記念写真)づくりに家族が集まった。
- 模擬店では、ジンギスカン、ジャガバタ、フランクフルト、枝豆、トウモロコシ等が出された。

⑦「悪徳商法防止講座」

実施日：平成 27 年 9 月 1 日(火)

会 場：石巻市みなと荘

スタッフ：仙台明社 3 人 全国明社 1 人

おちゃっこオアシス 2 人

東北財務・経済局 6 人

対 象：21 人



内 容：仮設住宅に住む高齢者への悪徳商法防止のため、東北財務局・経済局と協働して、寸劇による悪徳商法防止の講座を行った。終了後、茶話会で親睦を深めた。



⑧「悪徳商法防止講座」

実施日：平成 27 年 9 月 7 日(月)

会 場：石巻市仮設南第 5 団地集会所

スタッフ：仙台明社 3 人 全国明社 1 人

おちゃっこオアシス 2 人

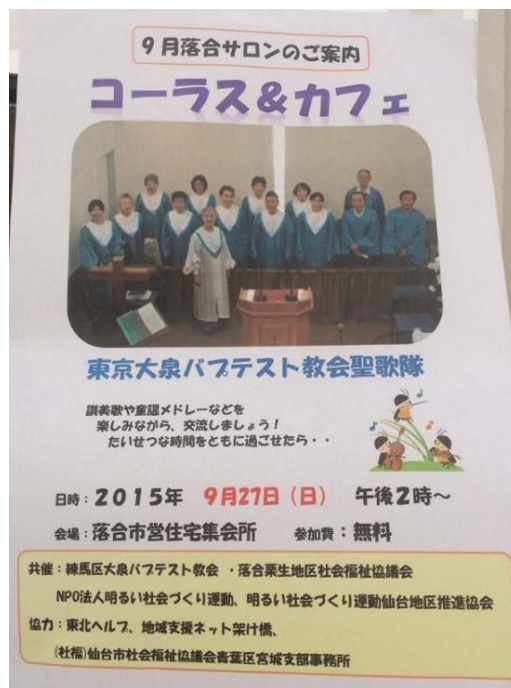
東北財務・経済局 6 人

対 象：26 人

内 容：仮設住宅に住む高齢者への悪徳商法防止のため、東北財務局・経済局と協働して、寸劇による悪徳商法防止の講座を行った。終了後、茶話会で親睦を深めた。

⑨「コーラス&カフェ」開催

実施日：平成 27 年 9 月 27 日(日)
会 場：仙台青葉区落合復興公営住宅
対 象：52 人



内 容：仙台市青葉区落合復興公営住宅の住民が集うサロンで、コーラス・カフェを開催した。落合復興公営住宅は今年の 7 月から入居が始まった新しい住宅で自治会もまだ発足しておらず、地域の社会福祉協議会が住民の親睦を図るためにサロンを開いている。コーラスは「東北ヘルプ」と「地域支援ネット架け橋」の協力のもと練馬区大泉バプテスト教会の聖歌隊に依頼。コーラスの後は美味しいケーキを頂きながら親睦を深め、再会することを約束した。

⑩「ライブパフォーマンスとワークショップ」開催

実施日：平成 27 年 12 月 5 日(土)
会 場：仙台市田子西復興公営住宅
スタッフ：ココロノキンセンアワー5 人、仙台明社 7 人



内 容：仙台市田子西復興公営住宅で、ココロノキンセンアワー、明るい社会づくり運動仙台地区協議会、全国明社の三団体で『ライブパフォーマンスとワークショップ』を共催した。

ライブパフォーマンスでは、石川かおりさんのファンタジー絵画と只野展也さんの音楽に乗せて、俳優の茅根利安さん・遊木理央さんが物語を語るという、絵画・音楽・朗読が三位一体となった素晴らしいコラボレーションステージであった。またワークショップでは、小さなお子さんからお年寄りまでが一緒になってクリスマスカードづくりに挑戦。参加した 30 人の方々は、「ライブの魅力を堪能し、手づくりの楽しさを満喫しました」と、満足そうに語っていた。

⑪「ホビーフェア」開催

実施日：平成 27 年 12 月 6 日(日)

会 場：石巻プレナミヤギ・プレナホール

スタッフ：石巻明社 5 人、仙台明社 1 人、全国明社 1 人



内 容：“NPO 法人手づくりで元気をつくる会”主催の『ホビーフェア』で、明るい社会づくり運動石巻地区協議会と協働して、来場者にあんこ餅を提供した。会場内では、手作品の販売のほか手作りワークショップも行われ、たくさんの来場者で賑った。手づくりのあんこ餅は大変評判で、用意した 200 食は 1 時間ほどで提供を終えた。

⑫「懐かしの映画鑑賞会」開催

実施日：平成 28 年 1 月 17 日(日)

会 場：名取市美田園第 1 仮設住宅

スタッフ：久喜・加須東日本大震災を支援する会 11 人

仙台明社 8 人、全国明社 1 人



内 容：名取市の美田園第 1 仮設住宅で、『懐かしの映画鑑賞会と、うどんを楽しむ会』を開催。この映画鑑賞会は、仙台明社が美田園第 1 仮設住宅で定期的に開催しているもので、今回で 11 回目となる。新年初めての鑑賞会ということで、初笑いとして“綾小路きみまろ”で大笑いしたあと、皆さんで久喜・加須東日本大震災を支援する会に提供いただいたうどん、昼食を取った。

うどんは、美田園第一仮設住宅にお住いの全員分 240 食を準備し、一部は会場で手打ちをした。会場に来られなかった方には、ご自宅で食べていただくよう手分けして運び、12 時半には全てのうどんの提供が終った。

(2) 東日本大震災復興支援植樹活動

①「側道植樹」

実施日：平成 27 年 4 月 18 日(土)

場 所：石巻河南インターチェンジ陸橋下側道

スタッフ：石巻明社 4 人、北茨城・高萩・勿来明社 20 人

内 容：河南インター出口の県道 16 号線左右側道に、
松葉菊を 200 本植樹した。



②「石巻市八幡町・花壇整備」

実施日：平成 27 年 10 月 17・18 日(土・日)

会 場：石巻市八幡町

スタッフ：久喜・加須東日本大震災を支援する会 12 人

仙台明社 10 人 全国明社 2 人

おちゃっこオアシス 4 人



内 容：宮城県明社と協働して石巻市八幡町の花壇整備を行った。この花壇づくりは、「津波で殺風景になった町を花でいっぱいになりたい」という願いから始まったもので、地元の支援団体「オアシス」の協力を得て、昨年から取り組んでいる。今回は、まずプランターの土をビニールシートにあけ、新たな腐葉土と混ぜ、それをプランターに詰めて、それぞれ四季咲きの「なでしこ」2 株を植えた。

③「めいしゃのもり」の整備



震災から5年が経ち、土地開発整備の為、石巻市役所より「めいしゃのもり」の治水整備要請があり、近隣の住民に確認し田畑に影響のないよう、当該地の周囲に側溝を設けた。その際、石碑を移動し、枯れた桜を撤去し、もり全体の整備を行った。



(3) 緊急援助活動

本年度は、要請がなかった。

平成27年度 活動計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位:円)

科 目		金 額		
I	経常収益			
1	受取会費			
	運営会費	710,000		
	個人賛助会費	2,091,000		
	団体賛助会費	1,820,000	4,621,000	
2	受取寄附金			
	受取寄附金	453,500	453,500	
3	受取助成金等			
	受取補助金	7,900,000	7,900,000	
4	事業収益			
	ネットワーク推進事業費1	280,000		
	ネットワーク推進事業費2	225,000		
	調査・研究事業費	85,000		
	集会事業費1	0	590,000	
5	その他収益			
	受取利息		22,132	
	経常収益計			13,586,632
II	経常費用			
1	事業費			
(1)	人件費			
	給料手当	0		
	人件費計	0		
(2)	その他経費			
	会場費	2,575,896		
	会議費	632,793		
	旅費交通費	6,636,006		
	現地活動費	2,987,864		
	諸謝金	247,055		
	印刷製本費	1,844,385		
	消耗品費	669,488		
	図書資料費	42,879		
	委託費	713,826		
	通信運搬費	694,140		
	雑費	7,800		
	その他経費計	17,052,132		
	事業費計		17,052,132	
2	管理費			
(1)	人件費			
	役員報酬	0		
	給料手当	0		
	退職給付費用	0		
	福利厚生費	53,589		
	人件費計	53,589		
(2)	その他経費			
	会議費	103,491		
	旅費交通費	856,840		
	通信運搬費	526,178		
	図書会費	50,000		
	消耗品費	145,235		
	修繕費	271,531		
	印刷製本費	18,900		
	光熱水料費	466,460		
	リース料	975,144		
	災害保険料	30,940		
	管理諸費	687,276		
	法人実務費	1,200		
	租税公課	0		

	雑費	204		
	その他経費計	4,133,399		
	管理費計		4,186,988	
	経常費用計			21,239,120
	当期経常増減額			
III	経常外収益		0	
	経常外収益計			
IV	経常外費用			
	電話加入権除却損		20,000	
	経常外費用計			20,000
	税引前当期正味財産増減額			-7,652,488
	法人税、住民税及び事業税			0
	当期正味財産増減額			-7,672,488
	前期繰越正味財産額			113,669,318
	次期繰越正味財産額			105,996,830

平成27年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1. 重要な会計方針
- 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

該当なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

該当なし

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

2. 事業別損益の状況

科目	ネットワーク推進 事業1	ネットワーク推進 事業2	ネットワーク推進 事業3	ネットワーク推進 事業4	広報事業1	広報事業2	広報事業3	調査・研究事業	地域協働事業	明社レジャー 事業	集会事業1	災害支援事 業1	災害支援事 業2	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益																
1. 受取会費	900,000				2,000,000	200,000		200,000		100,000		421,000		3,821,000	800,000	4,621,000
2. 受取寄附金					178,500		20,800			50,000		95,200		344,500	109,000	453,500
3. 受取助成金等	1,700,000		1,000,000		1,300,000			1,000,000	100,000	100,000		300,000		5,500,000	2,400,000	7,900,000
4. 事業収益	280,000	225,000						85,000						590,000		590,000
5. その他収益														0	22,132	22,132
経常収益計	2,880,000	225,000	1,000,000	0	3,478,500	200,000	20,800	1,285,000	100,000	250,000	0	816,200	0	10,255,500	3,331,132	13,586,632
II 経常費用														0		0
(1) 人件費	0						0							0		0
給料手当	0						0							0		0
福利厚生費														0	53,589	53,589
人件費計														0	53,589	53,589
(2) その他経費														0		0
会場費	1,831,876	727,520	0	0				16,500	0	0	0			2,575,896		2,575,896
会議費	39,480	0	3,000	55,670	88,889	13,554	1,296	324,032	59,300	3,293	34,690	2,250	7,339	632,793	103,491	736,284
旅費交通費	1,304,035	299,380	1,427,810	170	957,818	462,468	160,480	960,860	42,540	131,850	504,815	350,160	33,620	6,636,006	856,840	7,492,846
現地活動費												168,236	2,819,628	2,987,864		2,987,864
諸謝金	33,411	22,274	0	0	181,370	0	0	10,000	0	0	0	0	0	247,055		247,055
印刷製本費	34,344	0	0	7,117	1,787,257		0	0	0	0	15,667	0	0	1,844,385	18,900	1,863,285
消耗品費	388	0	0	0	17,782	0	0	7,117	0	130,483	27,918	484,850	950	669,488	145,235	814,723
図書資料費	0	0	0	0	35,937	842	0	6,100	0	0	0		0	42,879		42,879
委託費						624,826		89,000						713,826		713,826
通信運搬費	20,932	30	2,095	8,095	613,479	22,972	399	3,812	4,785	15,644	1,228	669	0	694,140	526,178	1,220,318
図書会費														0	50,000	50,000
修繕費														0	271,531	271,531
光熱水料費														0	466,460	466,460
リース料														0	975,144	975,144
災害保険料														0	30,940	30,940
管理諸費														0	687,276	687,276
法人実務費														0	1,200	1,200
租税公課														0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,200	0	3,600	0	7,800	204	8,004
その他経費計	3,264,466	1,049,204	1,432,905	71,052	3,682,532	1,124,662	162,175	1,417,421	106,625	285,470	584,318	1,009,765	2,861,537	17,052,132	4,133,399	21,185,531
経常費用計	3,264,466	1,049,204	1,432,905	71,052	3,682,532	1,124,662	162,175	1,417,421	106,625	285,470	584,318	1,009,765	2,861,537	17,052,132	4,186,988	21,239,120
当期経常増減額	-384,466	-824,204	-432,905	-71,052	-204,032	-924,662	-141,375	-132,421	-6,625	-35,470	-584,318	-193,565	-2,861,537	-6,796,632	-855,856	-7,652,488

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
該当なし (単位：円)

内容	金額	算定方法		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳
使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は105,996,960 円ですが、そのうち3,916,918円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は102,080,042円です。
(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
災害支援事業1 (子ども支援寄付金)	2,963,862	95,200	168,236	2,890,826	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業2 (植樹活動)	3,887,629	0	2,861,537	1,026,092	来期の活動資金として使用予定
合計	6,851,491	95,200	3,029,773	3,916,918	

5. 固定資産の増減内訳
該当なし (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬具 什器備品 無形固定資産 投資その他の資産 敷金						
合計						

6. 借入金の増減内訳
該当なし (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。
該当なし

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

該当なし

- その他の事業に係る資産の状況

該当なし

平成27年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

科 目	金 額 (単位:円)			詳細
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費収入				
・運営会員会費	710,000			71口(71人) 対前年12口減
・個人賛助会員会費	2,091,000			697口(666人) 対前年75口減
・団体賛助会員会費	1,820,000	4,621,000		182口(162団体) 対前年2口減
2 事業収入				
・全国集会事業収入	0			
・その他の事業収入	590,000	590,000		全国都道府県会議他
3 補助金収入				
・民間助成金収入	7,900,000			協力団体
・その他の助成金収入	0	7,900,000		
4 寄付金収入				
・寄付金収入	109,000			
・事業費への指定寄付金収入	344,500	453,500		うち子ども支援 95,200
5 雑収入				
・受取利息	22,132			普通預金・定期預金利息
・その他の収入	0	22,132		
6 収益事業会計からの繰り入れ				
・収益事業収入	0	0		
経常収入合計(A)			13,586,632	
II 経常支出の部				
1 事業費				
・ネットワーク推進事業費1(全国都道府県会議)				
会場費	1,831,876			会議室および参加者・スタッフ宿泊懇親費
旅費交通費	1,304,035			参加者・スタッフ 交通費
会議費	39,480			
通信運搬費	20,932			
消耗品費	388			
図書資料費	0			
印刷製本費	34,344			
諸謝金	33,411			
雑費	0	3,264,466		
・ネットワーク推進事業費2(明社ミーティング)				
会場費	727,520			4会場
旅費交通費	299,380			講師・スタッフ交通費
会議費	0			
通信運搬費	30			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	22,274			
雑費	0	1,049,204		
・ネットワーク推進事業費3(講師派遣と相談サービス)				
会場費	0			
旅費交通費	1,427,810			38ヶ所延べ38人
会議費	3,000			
通信運搬費	2,095			資料発送
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0	1,432,905		
・ネットワーク推進事業費4(諸団体との連携)				
会場費	0			
旅費交通費	170			

会議費	55,670				
通信運搬費	8,095				ラオスお礼状ハガキ他
消耗品費	0				
図書資料費	0				
印刷製本費	7,117				チラシ印刷
諸謝金	0				
雑費	0	71,052			
・広報事業費1(機関誌)					
機関誌製作費	1,787,257				機関誌4回
取材費	957,818				取材交通費
会議費	88,889				
通信運搬費	613,479				機関誌発送4回他
消耗品費	17,782				
図書資料費	35,937				
諸謝金	181,370				原稿謝礼
雑費	0	3,682,532			
・広報事業費2(WEB)					
委託費	624,826				HP管理費等
取材費	462,468				取材交通費
会議費	13,554				
通信運搬費	22,972				プロバイダー費用等
消耗品費	0				
図書資料費	842				
諸謝金	0				
雑費	0	1,124,662			
・広報事業費3(広報ツール)					
旅費交通費	160,480				映像取材交通費
会議費	1,296				
通信運搬費	399				明社パンフレット・ハッジ発送費
消耗品費	0				
図書資料費	0				
諸謝金	0				
印刷製本費	0				
雑費	0	162,175			
・調査・研究事業費					
会場費	16,500				志民カレッジ
旅費交通費	960,860				志民カレッジ セミナー参加等
会議費	324,032				
通信運搬費	3,812				志民カレッジ案内等
消耗品費	7,117				
図書資料費	6,100				
委託費	89,000				志民カレッジ
諸謝金	10,000				志民カレッジ
雑費	0	1,417,421			
・地域協働事業費					
会場費	0				
旅費交通費	42,540				大阪歳末助け合い募金
会議費	59,300				
通信運搬費	4,785				案内等発送費
消耗品費	0				
図書資料費	0				
印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	0	106,625			
・明社レンジャー事業費					
会場費	0				
旅費交通費	131,850				
会議費	3,293				
通信運搬費	15,644				衣装発送費
消耗品費	130,483				衣装他小物等
図書資料費	0				

印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	4,200	285,470			ボランティア保険7人
・集会事業費1(全国集会)					
会場費	0				
旅費交通費	504,815				企画委員会4回・実行委員会3回
会議費	34,690				
通信運搬費	1,228				資料発送等
消耗品費	27,918				チラシ用上質紙等
図書資料費	0				
印刷製本費	15,667				チラシ印刷
諸謝金	0				
雑費		584,318			
・災害支援事業費1(ボランティア活動)					
現地活動費	168,236				子ども支援
会場費	0				
旅費交通費	350,160				スタッフ交通費
会議費	2,250				
通信運搬費	669				
消耗品費	484,850				食材等
図書資料費	0				
諸謝金	0				
印刷製本費	0				
雑費	3,600	1,009,765			ボランティア保険6人
・災害支援事業費2(植樹活動)					
現地活動費	2,819,628				植樹整備・植栽
会場費	0				
旅費交通費	33,620				打合せ交通費
会議費	7,339				
通信運搬費	0				
消耗品費	950				ゴミ袋等
図書資料費	0				
諸謝金	0				
印刷製本費	0				
雑費	0	2,861,537			
・災害支援事業費3(緊急援助活動)					
現地活動費	0				
会場費	0				
旅費交通費	0				
会議費	0				
通信運搬費	0				
消耗品費	0				
図書資料費	0				
諸謝金	0				
印刷製本費	0				
雑費	0	0			
・事業人件費					
給料手当	0	0	17,052,132		
2 管理費					
給料手当	0				
福利厚生費	53,589				置き薬・残業食事代等
会議費	103,491				理事会会場費他
広報費	0				
旅費交通費	856,840				理事会交通費他
通信運搬費	526,178				電話・宅急便・払込手数料等
図書会費	50,000				日本NPOセンター他会費
消耗什器備品費	0				
消耗品費	145,235				事務用品等
修繕費	271,531				コピー機 コピー代・トナー代・保守等
印刷製本費	18,900				年賀状
光熱水料費	466,460				電気・水道料金
リース料	975,144				電話機・コピー機・セキュリティ機器・会計ソフト

災害保険料	30,940				火災保険・動産保険
管理諸費	687,276				会計事務所等
法人実務費	1,200				
租税公課	0				
雑費	204	4,186,988	4,186,988		残高証明手数料
経常支出合計 (B)				21,239,120	
経常収支差額(A)－(B)				-7,652,488	
Ⅲ その他資金収入の部					
1 固定資産売却収入			0		
2 その他の資金収入					
その他資金収入合計 (C)				0	
Ⅳ その他資金支出の部					
1 固定資産取得支出					
・器具・備品購入支出		0			
・投資有価証券購入支出		0	0		
2 予備費			0		
3 その他の資金支出			0		
その他資金支出合計 (D)				0	
当期収支差額(A)－(B)＋(C)－(D)				-7,652,488	
前期繰越収支差額(E)				113,649,318	
次期繰越収支差額(A)－(B)＋(C)－(D)＋(E)				105,996,830	
(正味財産増減の部)					
Ⅴ 正味財産増加の部					
1 資産増加額					
・器具・備品購入額		0			
・投資有価証券購入額		0			
・当期収支差額(再掲)		-7,652,488			
・その他の資産増加額		0	-7,652,488		
2 負債減少額			0		
増加額合計 (F)				-7,652,488	
Ⅵ 正味財産減少の部					
1 資産減少額					
・器具備品売却額		0			
・器具備品除却額		0			
・電話加入権除却額		20,000			
・その他の資産減少額		0	20,000		
2 負債増加額			0		
減少額合計 (G)				20,000	
当期正味財産増加額(F)－(G)				-7,672,488	
前期繰越正味財産額				113,669,318	
当期正味財産合計				105,996,830	

平成27年度 貸借対照表

平成28年3月31日現在

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	105,309,013		
前払費用	779,020		
流動資産合計		106,088,033	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
電話加入権	0		
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			106,088,033
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	74,000		
預り金	17,203		
流動負債合計		91,203	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			91,203
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		113,669,318	
当期正味財産増減額		-7,672,488	
正味財産合計			105,996,830
負債及び正味財産合計			106,088,033

平成27年度 財産目録

平成28年3月31日現在

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	48,875		
みずほ銀行普通預金	55,201,438		
みずほ銀行定期預金	50,015,539		
郵便貯金	43,161		
前払費用			
広報事業1前払費用	779,020		
流 動 資 産 合 計		106,088,033	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
電話加入権	0		
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産計			
投資有価証券	0		
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			106,088,033
II 負債の部			
1 流動負債			
(1)前受金			
平成27年度運営会費	0		
平成27年度賛助会費	74,000		
	74,000		
(2)預り金			
給与源泉所得税	0		
報酬源泉所得税	17,203		
報酬・料金源泉所得税	0		
	17,203		
流 動 負 債 合 計		91,203	
2 固定負債			
長期借入金			
銀行借入金	0		
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			91,203
正 味 財 産			105,996,830

監 査 報 告 書

平成 28 年 5 月 14 日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

理 事 長 砂 川 敏 文 殿

1. 監査手続の概要

監事は、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」に関する定款第 15 条により、同法人の第 15 期（即ち自平成 27 年 4 月 1 日至平成 28 年 3 月 31 日）の平成 27 年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動（収支）計算書」の監査を行いました。

この監査に当っては、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、監査手続を実施しました。

また、同法人の個人情報保護規程（平成 19 年 4 月 1 日施行）第 27 条により、監査責任者として個人情報管理の監査を実施しました。

2. 監査の結果

平成 27 年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動（収支）計算書」は、法令及び定款に従い、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」の収入、支出並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。また、個人情報の管理が個人情報保護方針および個人情報保護規程に従い、適正に実施されていることを認めます。

3. 「平成 27 年度事業報告書」の内容に相違ないことを認めます。

監 事 中村 陽一



監 事 槇 ひさ恵



監事選任の件

1. 定款第 16 条 1 項により、今期中村陽一氏が任期満了となる。
また、定款第 13 条 1 項により監事を 2 名以上置かなければならない。
よって監事を選任するに当たり、平成 28 年度第 1 回理事会において後任には大石雅也氏が推薦された。

①任期満了

- ・中村 陽一

②選任候補

- | | | |
|--------|-------------|------------------|
| ・大石 雅也 | 平成 2 年 4 月 | 葛飾明るい社会づくりの会常任理事 |
| | 平成 11 年 6 月 | 東京税理士会葛飾支部支部長就任 |
| | 平成 14 年 5 月 | 葛飾区行政評価委員長就任 |
| | 平成 17 年 6 月 | 東京税理士会理事就任 |
| | 平成 19 年 6 月 | 日本税理士連合会理事就任 |

理事退任の件

1. 定款第 16 条 1 項により今期中で沼田壽雄氏、阪本章人氏、松原久美子氏の 3 名の理事が平成 28 年 6 月 30 日をもって任期満了となり退任となる。

平成 28 年度事業計画

I 事業実施の方針

今年度は、初めて九州地方で開催する『全国集会 2016in 沖縄』と『全国都道府県会議』において、都道府県・地区明社の皆さまと本運動の方向性や事業のあり方を共有し、より一層の繋がりを図る。震災から 5 年が過ぎた東日本大震災の復興については、引き続き被災地のニーズを収集し、都道府県・地区明社と連携し、時期に適った支援活動を行う。また、「ラオスに井戸を贈る運動」「アフリカへ毛布をおくる運動」等の国際活動も都道府県・地区明社と連携して実施するものとする。平成 31(2019)年に迎える提唱 50 周年については、今年度も『全国都道府県会議』等で要望や提案を募り、準備に当たる。

II 事業の実施に関する事項

1. ネットワーク推進事業

(1) 全国都道府県会議

目 的：明社運動の方向性や事業のあり方を共有し、全国都道府県の方々と意見・情報交換を行い、より一層の繋がりを図ることを目的に開催する。

会 場：全国町村会館（東京都千代田区）

日 時：平成 28 年 11 月 5 日(土)13 時から 11 月 6 日(日)12 時まで

対 象：都道府県組織から推薦された方で、本人が全国明社の運営会員または賛助会員であること。（県組織のない地域の地区明社の参加も可）

参加人数：各県 1～3 人（複数参加の県は初参加の推薦を依頼する）

参 加 費：5,000 円

交 通 費

一部助成：助成申請者には、片道の交通費を助成する。

但し、助成の対象は、片道交通費が 3,000 円以上とする。

(2) 明社ミーティング

目 的：時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報交換並びに意見交換を通して、これからの運動を確認する。今年度は、「これからの明るい社会づくり運動・3 つの方針」の浸透に努める。

会 場：5 会場（招聘地）

日 程：1 泊 2 日または日帰り

対 象：複数県および県単位とする。複数地区明社開催も可。

参加人数：1 会場-45 人

参 加 費：1,000 円

(3) 講師派遣と相談サービス

目 的：本運動の推進を図るため、都道府県・地区明社および各種団体に対し、講師を派遣する。また、運動の啓発や事業実施の相談等に応える。

(4) 諸団体との連携

目 的：各種 NPO/NGO 団体が実施する事業等に参加し、本運動との連携を図る。

計画内容：①日本国際ボランティアセンターと協働し「ラオスに井戸を贈る運動」への協力を呼び掛ける。

②アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会への協力・支援を行う。

2. 広報事業

(1) 機関誌『はーとふる』の発行

目的：本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県ならびに地区明社への支援に寄与する。

計画内容：①発行時期：春号(4月)、夏号(7月)、秋号(10月)、冬号(1月)

②発行部数：9,000部(装丁：A4版16頁～20頁、カラー刷り)

③年間企画は、編集委員の意見をもとに検討し紙面の充実を図る。

(2) WEB等のIT活用

目的：インターネットを用いて、本運動の団体紹介や事業情報を迅速かつ広範に公開する。あわせて、都道府県ならびに地区明社の団体紹介や活動報告を掲載し、活動事例の紹介を行う。

計画内容：①ホームページで都道府県・地区明社の団体紹介、イベント情報等を適宜更新する。

②ホームページで全国明社の各種事業案内と報告を行う。

③メールマガジンを適宜発行し、情報の更新案内をする。

④フェイスブックを使い、即時の情報発信を行う。

(3) 広報ツールの開発

目的：本運動を広く地域社会に伝えていくためのツールを開発する。
また、提唱50周年に向けて、活動紹介映像作成のための取材を行う。

3. 調査・研究事業

目的：社会貢献に顕著な実績のある諸団体の活動を学び、本運動との協働などについて調査研究を行う。また、人材育成を目的に、体験学習会を開催する。

計画内容：①明社志民カレッジの開催

②地区明社の情報収集

③諸団体主催の事業等への参加

④情報収集

(1) 明社志民カレッジ

明社運動の理念に賛同し社会貢献を志す会員を対象に、各地の先見的な活動を訪ね、実践している方たちの熱い思いにふれるフィールドワークを行い、時代から求められる新しい地域づくり・市民活動の担い手としての次代リーダーを育成する

① 定員：10人…全日程参加を基本。但し、各回選択参加も可。

② 対象：明社会員で心身健全な方(年齢不問)

③ 参加費：5,000円×3回＝15,000円

※ 交通費：一部助成(片道分)

④ 日程及び内容(予定)：年3回

第1回 平成28年9月3日(土)～4日(日) [1泊2日]

●「住民主体のまちづくり」…長野県松代町

第2回 平成28年10月21日(金)～23日(日) [2泊3日]

● 地元学「住民と行政の協働型まちづくり」…新潟県長岡市

第3回 平成28年11月12日(土)～13日(日) [1泊2日]

●「原発の現状とこれから」…福島県いわき市

(2) 地区明社の情報収集

「全国組織一覧」や収集したデータをもとに地区明社の状況を確認し、本法人に望むサービス等の調査を行い、団体賛助会員の拡大に努める。また、地区明社の情報(発行物等)を収集し、事務局で閲覧できるよう管理する。

(3) 各種団体主催のセミナー等への参加

①各種団体主催のセミナーへの参加

②書籍による情報収集および各種団体の刊行物購読による情報収集

4. 地域協働事業

目 的：地域活性化への支援を目的として、全国明社と都道府県・地区明社が協働して事業を行い、都道府県・地区明社が地元とのつながりを持つ契機とする。

計画内容：①各種団体、行政など地域と共に、活動している地区明社の事業を支援する。

②地区明社と協働して青少年(キッズ、ジュニア、青年)育成を目指した活動を開発する。

③昨年に引き続き「全国清掃キャンペーン・明社人 みんなでゴミ拾い 2016」を実施し、機関誌で集計結果を発表し、都道府県・地区明社の連帯と一体感を深める。

5. 明社レンジャー事業

目 的：地区明社や市民団体等の要請に応え、「耀！連隊 明社レンジャー」のショーを行い、次代を担う子どもたちやその保護者を中心に、平和の大切さや市民によるまちづくりを啓発する。

計画内容：①要請に応え、ショーやイベントに出演し広報援助を行う。

②機関誌やホームページに衣装の貸出の案内を掲載し、本運動のPRに役立ててもらおう。

③創設 10 周年を記念し、他団体と協働して、被災地の子どもたちとの交流活動を実施する。

6. 集会事業

目 的：本運動の推進者が一堂に会し、提唱の理念を確認すると共に、情報交換・草の根運動に関する研鑽等を行い、より深く本質的な運動を展開する為の出会いと学びの場とする。

計画内容：①基本、全国集会は1日とし、2日目(観光ツアー)は選択とする。

②宿泊等の予約は、参加者自身で行う。

③プログラムについては、全国明社および受け入れ明社(NPO 沖縄)で実行委員会を組織し検討する。

日 程：平成 28 年 7 月 2 日(土)～7 月 3 日(日)

会 場：パシフィックホテル沖縄(那覇市西 3 丁目)

定 員：200 人

参 加 費：5,000 円(交流懇親会費)

※オプションツアー費 5,300 円

7. 災害支援事業

(1) 東日本大震災被災者支援ボランティア活動

目的：東日本大震災およびその他の災害において、当該地区明社等と協働し、復興支援に取り組む。

計画内容：①仮設住宅および復興住宅コミュニティづくりを、自治会等と協力し行う。

②独居および高齢者の参加を意識したイベントを実施する。

③子ども支援基金をもとに、子どもたちへの支援を行う。

(2) 東日本大震災復興支援植樹活動

目的：全国各地から寄せられた植樹基金をもとに、支援要請のある復興地に桜等の植樹を行う。また、仮設住宅等に「花植え」を行う。

計画内容：①石巻雄勝病院跡慰霊公園の植樹

②北上川堤防松の植樹

③プランターの設置

(3) 緊急援助活動

目的：緊急援助事業の協定団体である AMDA（特定非営利活動法人アムダ）や諸団体の要請に応じて、必要物資の調達・運搬等の後方支援を行う。

Ⅲ 運営に関する事項

(1)第 16 回通常総会の開催

と き：平成 28 年 6 月 18 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分（終了後、軽食懇親会）

ところ：佼成図書館視聴覚室

- (1)平成 27 年度事業報告・決算の承認
- (2)平成 28 年度事業計画・予算の報告
- (3)その他

(2)理事会(4 回)の開催

①第 1 回

と き：平成 28 年 5 月 14 日(土)13 時～16 時 30 分

ところ：法人事務所(東京都中野区)

- (1)平成 27 年度事業報告(案)・決算(案)の承認
- (2)平成 28 年度事業計画(案)・予算(案)の決定
- (3)その他

②第 2 回

と き：平成 28 年 8 月 27 日(土)13 時～16 時 30 分

ところ：法人事務所(東京都中野区)

- (1)法人の検討課題について
- (2)その他

③第 3 回

と き：平成 28 年 11 月 26 日(土)13 時 30 分～27 日(日)15 時

ところ：法人事務所(東京都中野区)

- (1)今年度の事業報告
- (2)次年度事業計画について
- (3)法人の検討課題について

③第 4 回

と き：平成 29 年 2 月 18 日(土) 13 時～16 時 30 分

ところ：法人事務所(東京都中野区)

- (1)次年度事業計画・予算の審議
- (2)法人の検討課題について
- (3)その他

(3)その他

- (1)全国都道府県会議「企画委員会」を設置する

平成28年度(2016年度) 収支予算書(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:円)

	平成27年度	平成28年度	予算差異
I 経常収入の部			
1・会費収入	5,550,000	5,550,000	0
①運営会費	1,000,000	1,000,000	
②個人賛助会費	2,550,000	2,550,000	
③団体賛助会費	2,000,000	2,000,000	
2. 事業収入	685,000	2,236,000	1,551,000
①全国都道府県会議参加費	400,000	325,000	
②明社ミーティング参加費	135,000	225,000	
③志民カレッジ参加費	150,000	150,000	
④全国集会参加費	0	1,536,000	
3. 補助金収入	7,900,000	7,000,000	-900,000
①協力団体	7,900,000	7,000,000	
②その他	0	0	
4. 寄付金収入(一般・指定)	200,000	200,000	0
5. 雑収入	10,000	8,000	-2,000
6. 前期繰越金からの繰入	11,201,000	13,162,374	1,961,374
7. 子ども支援基金からの繰入	2,963,862	2,795,626	-168,236
8. 桜苗木基金からの繰入	3,887,629	1,030,092	-2,857,537
経常収入合計(A)	32,397,491	31,982,092	-415,399

Ⅱ 経常支出の部	平成27年度	平成28年度	予算差異
1・事業費			
ネットワーク推進事業費1 (全国都道府県会議)	4,520,000	3,506,000	-1,014,000
ネットワーク推進事業費2 (明社ミーティング)	1,148,000	1,819,000	671,000
ネットワーク推進事業費3 (講師派遣と相談サービス)	1,750,000	1,750,000	0
ネットワーク推進事業費4 (諸団体との連携)	200,000	200,000	0
広報事業費1 (機関誌)	3,600,000	3,832,000	232,000
広報事業費2 (WEB)	1,150,000	891,000	-259,000
広報事業費3 (広報ツール)	500,000	500,000	0
調査・研究事業費	2,500,000	2,260,000	-240,000
地域協働事業費	860,000	910,000	50,000
明社レンタル事業費	300,000	450,000	150,000
集会事業費1 (全国集会)	600,000	4,350,000	3,750,000
災害支援事業費1 (ボランティア活動)	5,601,862	5,434,000	-167,862
災害支援事業費2 (植樹活動)	3,887,629	1,030,092	-2,857,537
災害支援事業費3 (緊急援助活動)	0	0	0
事業人件費	0	0	0
事業費合計	26,617,491	26,932,092	314,601
2・管理費			
管理費	5,780,000	5,050,000	-730,000
管理費合計	5,780,000	5,050,000	-730,000
経常支出合計 (B)	32,397,491	31,982,092	-415,399
経常収支差額 (A) - (B)	0	0	0
支出合計	32,397,491	31,982,092	-415,399

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(科目詳細)

	金 額 (単位:円)			計算式 等
I 経常収入の部				
1 会費収入				
・運営会費	1,000,000			@10,000 × 100
・個人賛助会費	2,550,000			@3,000 × 850
・団体賛助会費	2,000,000	5,550,000		@10,000 × 200
2 事業収入				
・ネットワーク推進事業1収入	325,000			
・ネットワーク推進事業2収入	225,000			
・調査研究事業収入	150,000			
・集会事業収入	1,536,000	2,236,000		
3 補助金収入				
・民間助成金収入	7,000,000			協力団体より
・その他の助成金収入	0	7,000,000		
4 寄付金収入				
・寄付金収入	200,000	200,000		事業への指定寄付を含む
5 雑収入				
・受取利息	8,000	8,000		預金利息
6 繰越金より繰入				
・繰越金より	13,162,374			
・子ども支援寄付金より	2,795,626			
・植樹寄付金より	1,030,092	16,988,092		
経常収入合計 (A)			31,982,092	

	金 額 (単位:円)			計算式 等
Ⅱ 経常支出の部				
1 事業費				
・ネットワーク推進事業1(全国都道府県会議)				
会場費	1,984,500			会場使用料・懇親会・会場備品等
旅費交通費	1,290,000			参加者補助・会議交通費他
会議費	95,500			
通信運搬費	15,000			開催通知等発送費
消耗品費	11,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	10,000			資料印刷
諸謝金	100,000			
雑費	0	3,506,000		
・ネットワーク推進事業2(明社ミーティング)				
会場費	1,087,500			会場使用料・懇親会等 5会場
旅費交通費	560,000			当日 5会場
会議費	0			
通信運搬費	6,500			資料発送
消耗品費	5,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	10,000			資料作成
諸謝金	150,000			講師料 5会場
雑費	0	1,819,000		
・ネットワーク推進事業3(講師派遣と相談サービス)				
会場費				
旅費交通費	1,704,000			2人×12回
会議費	20,000			
通信運搬費	10,000			資料発送
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	16,000			資料作成
諸謝金	0			
雑費	0	1,750,000		
・ネットワーク推進事業4(諸団体との連携)				
会場費	0			
旅費交通費	100,000			
会議費	55,000			会議参加費
通信運搬費	20,000			礼状発送等
消耗品費	5,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	20,000			
諸謝金	0			
雑費	0	200,000		
・広報事業1(機関誌)				
機関誌制作費	1,840,000			機関誌デザイン・印刷
旅費交通費	700,000			取材交通費
会議費	38,000			編集委員会等
通信運搬費	600,000			会員・贈呈者等発送
消耗品費	344,000			発送用封筒
図書資料費	70,000			資料購入等
諸謝金	240,000			原稿料等
雑費	0	3,832,000		
・広報事業2(WEB)				
委託費	548,800			HP委託管理・新規コンテンツ制作
旅費交通費	300,000			取材交通費
会議費	20,000			取材打合せ等
通信運搬費	7,800			インターネット
消耗品費	10,000			メディア等消耗品
図書資料費	4,400			
諸謝金	0			
雑費	0	891,000		
・広報事業3(広報ツール)				
会議費	0			
旅費交通費	480,000			資料映像取材

通信運搬費	20,000			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	0	500,000		
・調査・研究事業				
会場費	0			
旅費交通費	1,735,000			志民カレッジ・セミナー参加
会議費	29,000			
通信運搬費	0			
消耗品費	5,000			地区明社情報収集用
図書資料費	21,000			情報収集用書籍等
印刷製本費	0			
委託費	270,000			カレッジプログラム
参加費	150,000			セミナー参加費等
諸謝金	50,000			
雑費	0	2,260,000		
・地域協働事業				
会場費	500,000			
旅費交通費	330,000			
会議費	15,000			
通信運搬費	5,000			
消耗品費	10,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	50,000			チラシ等作製
諸謝金	0			
雑費	0	910,000		
・明社レジャー事業				
会場費				
旅費交通費	360,000			
会議費	25,000			
通信運搬費	20,000			衣装発送費等
消耗品費	20,000			
図書資料費	20,000			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	5,000	450,000		ボランティア保険
・集会事業(全国集会)				
会場費	1,480,000			会場使用料・懇親会・会場備品等
旅費交通費	2,130,000			ツアーバス・役員スタッフ交通費
会議費	150,000			
通信運搬費	0			
消耗品費	20,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	450,000			チラシ・報告集作製
諸謝金	120,000			
雑費	0	4,350,000		
・災害支援事業1(ボランティア活動)				
現地活動費	3,125,626			子ども支援・プログラム運営・機材等
旅費交通費	1,650,000			ボランティア・スタッフ交通費
会議費	50,000			ボランティア・スタッフ食事代
通信運搬費	0			
消耗品費	600,000			食材等
図書資料費	0			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	8,374	5,434,000		ボランティア保険

・災害支援事業2(植樹活動)					
現地活動費	1,030,092				
旅費交通費	0				
会議費	0				
通信運搬費	0				
消耗品費	0				
図書資料費	0				
印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	0	1,030,092			
・災害支援事業3(緊急援助活動)					
現地活動費	0				
旅費交通費	0				
会議費	0				
通信運搬費	0				
消耗品費	0				
図書資料費	0				
印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	0	0			
・事業人件費					
給料手当	0	0	26,932,092		
2 管理費					
・主たる事務所の管理費					
給料手当	0				
福利厚生費	67,600				
会議費	280,000				総会・理事会会場費他
広報費	0				
旅費交通費	1,200,000				理事会・総会 日帰り交通費
通信運搬費	550,000				電話・宅急便・メール便・振込手数料・払込手数料等
図書会費	50,000				
消耗什器備品費	0				
消耗品費	270,000				事務用品・ゴミ処理券等
修繕費	420,000				コピー機パフォーマンス料他
印刷製本費	20,000				
光熱水料費	462,000				電気・水道
リース料	1,023,000				コピー機、電話機、会計ソフト他
災害保険料	31,000				家財保険・動産保険加入
管理諸費	667,400				会計顧問料他
法人実務費	4,000				
租税公課	0				
雑費	5,000	5,050,000	5,050,000		残高証明手数料等
経常支出合計 (B)				31,982,092	
経常収支差額 (A)－(B)				0	